

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市環境影響評価審査会				
事務局 (担当課)		環境政策課 電話042-769-8240(直通)				
開催日時		令和元年5月23日(木) 18時00分~19時05分				
開催場所		ソレイユさがみ セミナールーム1				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	6人(樋口環境共生部長、宮崎環境政策課長、他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 審議 「GLP相模原プロジェクト」環境影響評価準備書				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

定足数の確認の上、開会した。

2 議題

(1) 「G L P相模原プロジェクト」環境影響評価準備書について

片谷会長の進行により議事が進められ、「G L P相模原プロジェクト」に係る環境影響評価準備書に関して、「資料1」を基に、審査会における指摘事項への対応方針について、事務局から説明された。

「騒音・超低周波音」の意見への対応方針は、更なる環境保全措置の検討を求める趣旨を答申(案)とすることです承する。

車両の走行に伴う影響に対する環境保全措置としては、対象事業実施区域外における物理的対策は困難なことから、交通流対策が有効と考える。

「土壌」の意見への対応方針は、審議終了として了承する。

仮に汚染土壌を除去する方法ではなく、汚染土壌を管理していく場合には、引き渡し後においても管理が継続することに留意されたい。

対応方針にある「審議終了(要望)」とは、どのような取扱いになるのか。

答申とするまでではないが、要望として事務局から事業者へ口頭等で伝えるものを「審議終了(要望)」として分類している。

なお、環境影響が比較的大きいと考えられ、追加の対策や調査等を求めるものを「答申(案)とする」として分類し、最終的にその趣旨は市長意見書として事業者に手交されることとなる。

「廃棄物及び発生土」の意見への対応方針は、審議終了として了承する。

原単位等に類似事例を参照した場合は、内容と規模などの類似性を示し、その妥当性を明らかにする必要がある。

「温室効果ガス」の意見への対応方針は、審議終了として了承する。

今回の施設がどの程度の省エネ施設に該当するのか、同一用途の他事業所の状況と比較して示すことが有効である。

また、空調機器の設備は評価書に示されるのか。大型空調機器に対するH F Cの代替冷媒については、研究段階で技術的に困難であると認識しているが、H F C以外の冷媒を使用し

た場合にはエネルギー効率が下がることも想定されるため、その点に留意されたい。

評価書作成までに使用設備が確定した場合には、評価書に記載してもらうよう事業者伝える。

確定しない場合には、想定される複数案を示す方法もある。

「安全（交通混雑・交通安全）」 1、 2 及び 4 の意見への対応方針は、審議終了として了承する。

「安全（交通混雑・交通安全）」 3 及び 5 の意見への対応方針は、更なる環境保全措置の検討を求める趣旨を答申（案）とすることで了承する。

「交通安全」について、車両走行ルート上に通学路があるが、児童への安全対策はどのように考えているのか。

交通安全に関する環境保全措置は準備書に記載されているが、児童への安全対策については、事業者を確認する。

「景観」 1 及び 3 の意見への対応方針は、審議終了として了承する。

断面図には植樹等の状況を表現するとともに、断面図では表現できない水平視角はフォトモンタージュ等への記載を検討するなど、きめ細やかな資料を示されたい。

また、建築物の外観の候補がある場合には、複数案を示されたい。

「景観」 2 の意見への対応方針は、予測事項の追加の検討を求める趣旨を答申（案）とすることで了承する。

「景観」 4 の意見への対応方針は、調査時期の追加の検討を求める趣旨及び事後調査頻度の増加を求める趣旨を答申（案）とすることで了承する。

「その他」 1 ~ 4 の意見への対応方針は、審議終了として了承する。

本日の審議を踏まえ、事務局に答申（案）を作成してもらい、次回の審議資料とする。

なお、評価書対応となっているもののうち、事業者と調整がついたものについては、その対応案を併せて次回の審議資料とする。

以 上

相模原市環境影響評価審査会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠
1	小根山 裕之	首都大学東京 都市環境学部 教授		出席
2	片谷 教孝	桜美林大学 リベラルアーツ学群 教授	会長	出席
3	加藤 ゆき	神奈川県立生命の星・地球博物館 主任学芸員		欠席
4	亀卦川 幸浩	明星大学 理工学部 教授		出席
5	黒田 道子	東京工科大学 名誉教授		欠席
6	桑原 勇進	上智大学 法学部 教授		欠席
7	菅原 敬	首都大学東京 理学研究科 准教授		出席
8	田中 修三	明星大学 理工学部 教授	副会長	出席
9	塚田 英晴	麻布大学 獣医学部 准教授		出席
10	畠山 吉則	日本大学 生物資源科学部 准教授		欠席
11	御法川 学	法政大学 理工学部 教授		出席
12	宮脇 健太郎	明星大学 理工学部 教授		欠席
13	室田 昌子	東京都市大学 環境学部 教授		出席
14	屋代 雅充	元 東海大学 観光学部 教授		出席
15	吉永 龍起	北里大学 海洋生命科学部 准教授		出席